

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	13.8 p	△ 2.3 p ↓
不動産流通業(住宅地)	△ 9.3 p	△ 8.1 p ↓
ビル賃貸業	26.5 p	5.9 p ↑

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	△ 6.9 p	△ 5.1 p ↓
不動産流通業(住宅地)	△ 9.3 p	△ 8.1 p ↓
ビル賃貸業	2.9 p	0.0 p →

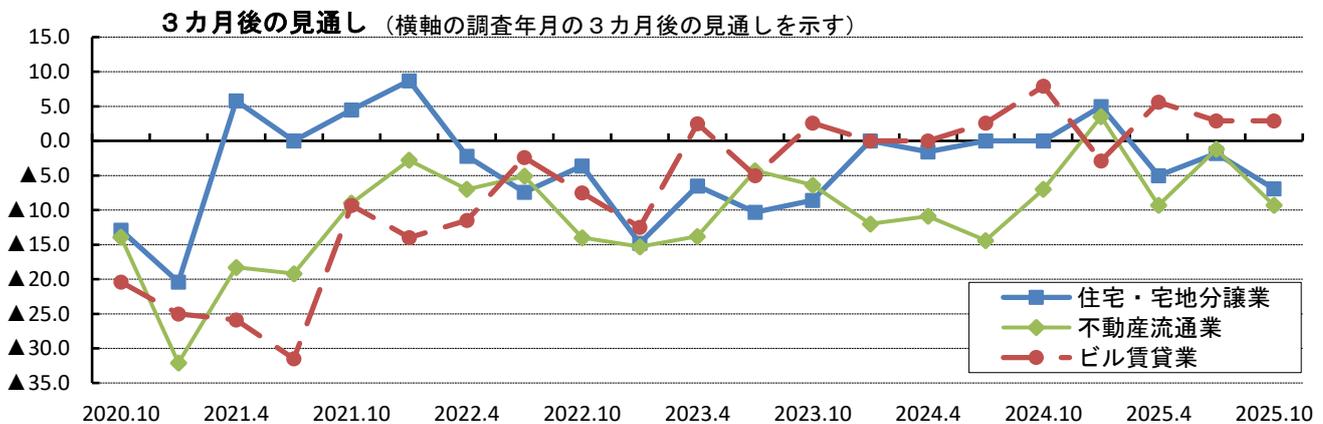
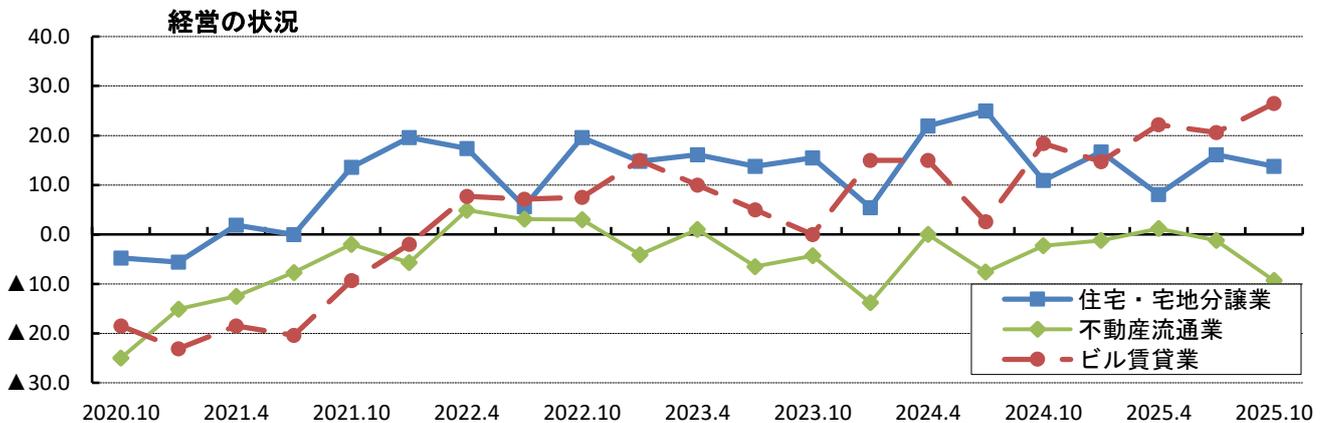
住宅・宅地分譲業の経営状況は前回の調査時点から2.3p悪化し、13.8pとなった。
 不動産流通業は、前回から8.1p悪化し -9.3p。
 ビル賃貸業は、前回のから5.9p改善し 26.5p。3期連続のプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業で悪化、ビル賃貸業では横ばい。

*1 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

*2 経営の状況 = $\{(\text{「良い」} \times 2 + \text{「やや良い」}) - (\text{「悪い」} \times 2 + \text{「やや悪い」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$

*3 3ヶ月後の見通し = $\{(\text{「良くなる」} \times 2 + \text{「やや良くなる」}) - (\text{「悪くなる」} \times 2 + \text{「やや悪くなる」})\} \div 2 \div \text{回答数} \times 100$
 （調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果 \(pdf\) ダウンロード](#)

資料:一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第158号「不動産業業況等調査」